

倫理審査委員会

【元年度—第4回】

■ 日 時 : 令和元年11月20日(水) 18:00 ~19:15

■ 場 所 : 2階 応接室

■ 委 員 :

出席者:

- | | | |
|---------------|-------------------|-----------|
| ○瀧川診療部長《委員長》 | ○玉井看護部長《副委員長》 | ○山田事務局長 |
| ○内藤診療部長 | ○菊地医長 | |
| ○佐々木薬局長 | ○吉川看護部次長(業務・教育担当) | |
| ○木村(憲) 外部招聘委員 | ○木村(浩) 外部招聘委員 | ○岩崎外部招聘委員 |
| ○松石経営企画課長 | ○小島総務課長(委員会事務局) | |

1 議 題

(1) 審査事項

①【臨床研究 — 新規】

「一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業 (Japan Neurosurgical Database : JND) について」

<申出者: 診療部長(外科系担当) 瀧川 修吾>

〔審議結果〕

承認

当院で本研究を行うことの可否について、研究計画書等の資料に基づき審査を行った結果、研究の目的、対象者、実施方法、倫理的な配慮に関する事項について、いずれも倫理的・科学的な観点から妥当であると判定し、これを承認する。

(2) 審議事項

②【医療行為 — 新規】

透析導入を拒否している患者について

<申出者: 診療部長(透析室担当) 新藤 純理>

〔審議結果〕

修正の上承認

本人が透析の実施を望まない場合で、家族が反対している場合の対応について、本人の意向を尊重すべきか、家族の意向をくみ取るべきかについて、倫理的な視点で委員会において、慎重且つ熱心な議論を行った結果、次のとおり倫理審査委員会の見解を意見として、申出者に伝達する。

「日本透析学会の血液透析療法ガイドライン作成グループによる「維持血液透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」に従い、本人からの事前指示書の提出や家族の理解を得るための説明など、提言 1 から提言 5 までのフェーズの移行に着実に対応することにより、本人の意思を尊重することについて、倫理審査委員会として倫理的に問題ないものとの結論に至った。」

2 その他

特になし。